

ばらんす

■編集発行 大田原市教育委員会生涯学習課 女性企画担当 〒324-0041 大田原市本町1丁目3-3 ☎0287-23-8718・FAX 0287-24-2528

栃木県男女共同参画推進条例施行

県民の皆さんが、男女共同参画社会を推進していく上での基本となる考え方について共通の理解をもち、互いに協力して取り組めるように、その方向性を示すものとして栃木県男女共同参画推進条例が平成15年4月1日から施行されました。

6つの基本理念

① 男女の人権の尊重

男女が性別によって差別されることなく、個人としての能力を発揮できるように、その人権が尊重されることが必要です。

② 社会における制度 又は慣行についての配慮

社会の一部には、男女の一方に固定的な役割を求める傾向が根強く残っています。一人ひとりがどのような生き方をするかを自ら選択することができるように、社会の制度や慣行のあり方を考えていくことが必要です。

③ 政策等の立案 及び決定への共同参画

男女が社会の対等なパートナーとして、様々な政策や方針を一緒に考え、決定することができるようにしていくことが必要です。

④ 家庭生活と他の活動の両立

家族を構成する男女が、互いに協力し、育児・介護などの家庭における役割を果たしながら、働くこと・学校に通うこと・地域活動をするなどの両立を図ることができるようにしていくことが必要です。

⑤ 男女の生涯にわたる健康の確保

男女が互いの身体の特徴について理解を深め、双方の意思が尊重されることで、安全な妊娠・出産ができるようにすること、また、生涯を通じて身体的にも健康な生活を送ることができるようにしていくことが必要です。

⑥ 国際社会の動向を踏まえた取組

男女共同参画の推進は、国際社会に共通する課題です。国際的な取組と歩調を合わせながら進めていくことが必要です。

《仮称》大田原市男女共同参画推進条例制定に向けて

大田原市でも、男女共同参画社会の実現に向けてよい指針となるよう大田原市女性問題懇話会に意見を求め、専門部会を設置して検討しております。条例骨子(案)がまとまり次第内容を公表し、市民の皆さんの意見(パブリックコメント)を聴きながら進めます。是非ご意見をお寄せください。



女の一生・男の一生

男は辛いよ

から別れましょう



いつもいつも…



主!



跡継ぎ誕生
おめでとう!



男は泣くな!!
男だがんばれ!

を許さない制度・慣習がありました

間一生の暮らし
・介護など
みがあります
性が担っていました

将来は…

男なら〇〇大学
目指せ!



わりなく
とともに社会に参画し
社会でありたいものです

参画社会 です

社会に出ると…

- ・わしも族
- ・女房に先立たれて
惨めだ



男は仕事が第一!
男の出世は女次第だ!

対応した男女の一生を歩もうではありませんか。



みんなで考えよう

女は損だよ

こんな一生からお

いつもいつも…

女なんだから
お母さんの手伝いを
しなさい!



何だ女か!



誕生

将来は…

女だから短大で
十分だ! どうせ結婚
するんだから…



男女が自分らしい生き方をすること

生活の現場で人
家事・教育
欠かせない営
これらの多くは女性

社会に出ると…

まだ結婚しないの!?
女にしては良くやって
るけど…



性別に関
能力や個性を發揮して
誰にとっても生きやすい

それが **男女共同**

- ・内助の功
- ・老婆
- ・オバタリアン

男女の役割分担が柔軟になり、変化する時代に

研修報告

家庭教育オピニオンリーダー 研修に参加して

佐藤 静江



友人に勧められ、14年度の「家庭教育オピニオンリーダー研修」に参加しました。

この研修の趣旨は「核家族化による家族形態の変化や、近隣との人間関係の希薄化が進行し、子育てに関して不安を感じている家族が増えています。一方で青少年が抱える悩みや問題も多岐にわたり、深刻化しています。その様な中で家庭教育について自主的に学習や相談、活動を行ない、地域に根差した支援、援助ができる方の養成を目指しています」となっています。

県内各地から72名の受講生で、14年9月26日から15年1月29日までに10回の研修がありました。

■栃木県主催の研修会に参加した方々の中からお二人に報告をしていただきました。

会者 研修 出席 研出

栃木県家庭教育オピニオンリーダー研修
栃木県女性教育指導者研修
栃木県男女共同参画セミナー実践講座

佐藤 静江・高橋美保子
外岡 博子・磯 昭子
磯 千子・永塚 和子

時間は10時から16時までとなっており、講話や事例発表、カウンセリングの実際、そしてフィールドワークでの演習又は、グループ協議での「地域の子育て支援の実際」のまとめ等を行いました。

自分の力ラだけにとじこもっていたのでは、視野が広がらないと思います。一昨年海外研修に参加させて頂いたお陰で、いろいろな所で生涯学習をさせて頂いております。

女性指導者研修に参加して

磯 昭子



勉強嫌いだっただけがここ数年、学習意欲に目覚めました。

その第一歩が平成13年に参加した、大田原市女性の海外研修でした。それまで、自分の家庭が幸せであれ

ばそれで良いと思っていました。が、広く外に目を向け始めると、知らなくてはいけない事がたくさん出てきて、それが私の学習意欲につながったように思います。

女性指導者研修は「生涯学習社会とちぎの形成」のための施策の一つで、女性の視点での豊かな社会づくり、地域づくりが行われるよう、女性の資質の向上を目指した研修です。県内各市町村から参加した49名でスタートした10回の研修は、全体の運営もグループで役割分担して行われ、今まで傍観者だった一人ひとりが主体者となりました。団体運営のポイントやプレゼンテーションの技術を学び、それらを駆使してグループ別に課題研究に取り組み、最終日発表しました。限られた時間内でのこの取り組みは、とても大変でしたが充実感と満足感を得ることができました。

私の中に少しずつではありますが、知識が増えつつあります。この知識をどのようにして伝えていくか、これからの私の課題となりました。

お知らせ

■第13回生涯学習フォーラム

とき 平成15年11月29日(土)
13時開会
ところ 大田原市総合文化会館ホール
内容 実践発表
講演 講師 菊田あや子
(テレビリポーター)
演題 「聞いてビックリ
見てビックリ」

■第20回男女共同参画社会を考えるついで

とき 平成16年1月24日(土)
13時開会
ところ 大田原市総合文化会館ホール
内容 女性連協による寸劇
樋口恵子先生による講演

編集後記

今回は「女は損だよ・男は辛いよ」で、従来の役割分担にとらわれた生き方の問題点を考えてみました。
性別にとらわれず一人ひとりの個性を大切にできる世の中にもしたいものです。

編集委員募集

年齢、性別を問いません

編集委員(アイウエオ順)

大久保愛子・栗原敏子
杉山真美子・古谷芳子

